	著者名	書名	出版年	出版社	価格 (税別)	本文ページ数	ISBN	やまむろコメント	採用期 1(2007後期) 9(2011後期)
1	河北新報	河北新報特別縮刷版 3.1	2011	竹書房	1260	222	978-4812446294	あの日から1ヶ月間のリアルタイムの生記録。 見出しだけでよいので、拾っていってみてください。明日どうなるか全く分からない極限状況のなかで、現地の新聞記者たちはどんな現実に立ち向かい、何に希望を見出そうとしたのか。時代をうつしつつ、また時代をつくってゆくものでもある「報道」という仕事の役割を考えるよすがに。	9
2	成美堂出版編集部	地図で読む東日本大震 災	2011	成美堂出版	1050	95	978-4415110028	より鳥瞰的に。 ひとつひとつの地図からグラフから数字から、さて何を読みますか。 たくさんの回答が導き出せるはず。	9
3	石川 梵	THE DAYS AFTER 東日本大震災の記憶	2011	飛鳥新社	2415	_	978-4864100960	ひとりの眼を通しての記録、という芯の据わり方が貴重。 写真も映像も、あの日から私たちは、もう感覚が麻痺するくらいにたくさん消費してきた。けれども、ここにあるものは、たったひとりの写真家が、おのれの力だけを支えにこの巨大な現実と向き合おうとした真剣な記録。空撮と接写を織り交ぜた構成は、まるで彼自身が対象との距離をどう取ったらよいか、自問自答をしているかのような。 どうか写真の前を通り過ぎるだけでなく、巻末にて、それぞれの写真に添えられたことばも受けとってください。	9
4	戸羽 太	被災地の本当の話をしよ う	2011	ワニブックス PLUS新書	798	175	978-4847065224	陸前高田市長。大災害のまっただなかに立つリーダーのまっすぐなトーク。 天を怨むでも、人を恨むでもなく、苛酷な自らの運命を引き受けて、こうして前に進もうとしている人が北の大地にいることに励まされます。	9
5	ケビン メア	決断できない日本	2011	文春新書	819	232	978-4166608218	まだ記憶に新しい普天間の大迷走からトモダチ作戦まで。現場に立って戦い続けたアメリカの外交官のずばずばトークが痛いけれどここちよい。 鋭いだけでなく、ちゃんとユーモアが入っているところが、さすがタフ・ネゴシエーター(←日本外務省筋命名の彼のあだ名)。とくに188ページ「愛をささやく仕事」に爆笑。	9
6	古賀 茂明	官僚の責任	2011	PHP新書	756	222	978-4569798059	ずっと手の届かない遠くにあり、一般市民にはマス・メディアという濾過紙を通さないと安易に伺うこともできない政官界の内情。中にいて初めて見えてくる、その感覚ズレした「構造」を明らかにし、このままではいけないと改革と再建を主張する古賀氏の文章には、百戦錬磨のリアリティと情熱が感じ取れ、彼の行動原理こそ「官僚としての責任」であることがありありと伝わってくるようであった。 文調も、一方的なバッシングではなく、将来をただただ憂うるのでもなく、頭ごなしに否定するのでもなく、今はまだ進み方を間違えているんですよと諭すような言い方に救われる思いがした。	9
7	一色正春	何かのために sengoku38の告白	2011	朝日新聞出版	1000	214	978-4023309203	尖閣ビデオ流出。 職を賭してまで、なぜそんなことを? 「私がやらねば、このまま日本はダメになってしまう」――迷いつつも踏み切った海上保安官の思いのたけが、無骨な言葉で訥々と語られます。 大げさでヒーローぶった気負いも、技巧的で華麗むのを考えて、それを行動に とつの論点が自前でこつこつ組み立てられ、ああものを考えて、それを行動に 移すって、こういうことなんだと、しずかに深く胸にしみてきます。 行動した男の説得力。受け入れた妻の信頼。この国を支える人たちのかたちです。	8

8	マイケル・サンデル	これからの 「正義」の話をしよう	2010	早川書房	2300	380	978-4152091314	大ブームとなった哲学書。 破綻した銀行に公的補助は必要? のような事例から、ベンサムやらロールズやら、判断のよりどころとなる思考体系へといざなってゆく手法が絶妙。哲学の高い峯のはずなのに、名案内人のおかげでするする登れてしまう、みたいな。 がっつり取り組んでも実りは多いけれど、ここは濫読道場。 ぱっと開いて具体的な事例を探す →自分だったらどう判断するか30秒だけ考える →解説を読んで自分は功利主義者かリバタリアンか判断するというつまみ食い法も有効です。	6
9	フリードリッヒ・ ニーチェ	超訳 ニーチェ	2010	ディスカ ヴァー・トゥ エンティワン	1785	232	978-4887597860	ページからページへ、哲人の遺した232のメッセージを旅するうちにどこかで「ヤラレタ」とうならされる言葉に出会えるはずです、きっと。 ヤマムロの「ヤラレタ」ポイントは40ページでした。ぐさり。	7
10	瞠目卓生	アダム・スミス	2008	中公新書	880	283	978-4121019363	今さらアダム・スミス? そう、今だからアダム・スミス。 ご存知「神の見えざる手」は決してメカニカルな自由競争システム礼 賛ではなくて、人間と社会に対する深い信頼と洞察に裏うちされたもの なのですと、コチコチの古典をゆっくりじっくり吟味しながら、スミス の意図の深奥へと錘が下ろされてゆきます。 『国国論』の陰に『道徳感情論』あり。 経済イコールお金の動き、そんなカサついた先入観が、いつしかやん わり溶かされて、堅苦しい学問のお話なのに、心なごんでしまう不可思 議さ。 ただし! 濫読にはとてもとても不向きです。叡智の女神は根気よく 扉を叩く者にしか微笑みません、少なくともこの本の場合は。	4
11	小島寛之	使える! 経済学の考え方	2009	ちくま新書	777	224	978-4480065094	ハルサーニの定理がやっと分かったよと某ゲーム理論家の先生。山室はアマルティア・センに少し近づけた気が。そんなふうに巨人たちのエッセンスをコンパクトに届けてくれる一話完結入門講義の赴きです。「法哲学」のおともにも最適。例題、解いてみる?「ピッチャー1杯分のビールを、形の異なるグラスを持ったn人に公平に分けるには?」 早くしないと泡が消えちゃうよー。	6
12	大竹文雄	競争と公平感	2010	中公新書	780	245	978-4121020451	何を以て「公平」と認定しますか? 社会が大きく壊れてしまった3・11以後、この問いはとても切実に響きます。 職業や賃金は能力に応じるのが公平? でも、努力と能力は比例しないわけ だから、がんばっても低賃金、怠けても高賃金になっちゃうけど、それでOK? 諸外国と日本との価値観の違いなど、データをもとにたくさんの問題の切り口 を提示してくれます。	8
13	マッテオ・ モッテルリーニ	経済は感情で動く	2008	紀伊國屋 書店	1600	302	978-4314010474	イタリア仕込みの行動経済学。話題はほかの本ともかぶるけど、トピックごとにていねいに解説してあるのがメリット。 楽しい実験例が豊富なので、ついつい呑み会などで話したくなるけれど、度が過ぎてウザがられないように。これを「後悔回避 regret aversion」と申します。	3
14	黒沢 義孝	経済は〈格付け〉で動く	2011	中経出版	1575	254	978-4806141402	日本国債が格下げされたら、それってつまり世界中の国が日本のことを信頼できなくなるってこと。こいつ借金踏み倒すかもって思われているってこと。 「じゃあ日本は大丈夫なの?」と心配になってしまったら、p54にご説明が。 タイトルに既視感があるのは御愛嬌。パクリだよね、これ。	9

15	ダン・アリエリー	予想どおりに不合理 増 補版/不合理だからすべ てがうまくいく	2008	早川書房	1800	314		小ネタのオンパレード、あたかも回転寿司の如し。 オレってどうしていつも締め切り直前にしか始められないんだろ、とか、ダメカレだからさっさと振っちゃいたいのに、なんで見切りを付けられないのかしらん、とか、日頃のあなたの不合理行動を実験ですっきり証明してみせます。 なんだ、みんなそうなんだと安心できるかもしれないけれど、だからって問題を解決してくれるわけじゃないのね。そこが行動経済学のウィーク・ポイントと見た!	4
16	ハワード・S・ダン フォード	不合理な地球人	2010	朝日新聞出版	1600	311	978-4023308763	行動経済学の「コ」の字も知らない超初心者さん向け楽しいガイドブック。 アンカリングもプロスペクト理論もフレーミング効果も、あ、そんなカンタンなことなんだ、と宇宙人さんと一緒に大納得。ナッジもヒューリスティクスもサンクコストも、お、これで呑み会のネタが増えたぜとらくらくマスター。ベイズの定理になると、ちょっときびしいかな。 そんな感じです。たくさん揃えた行動経済学系の本の入り口としてどうぞ。	8
17	スティーヴン・ レヴィット& スティーヴン・ J・ダブナー	ヤバい経済学/超ヤバい経済学	2007	東洋経済新報社	2000	379		行動経済学系の本のなかでも、人ひとりの行動でなく、社会全体の構造をマナイタに乗せて料理しているところが特徴です。犯罪の発生率の劇的減少を中絶の合法化から説明する、というように。ひとつのテーマの掘り下げがそこそこ深くて、あまりコマギレでないのもGOOD。そして、語り口の軽やかさは、さすがベストセラー。リリースされたばかりの、超ヤバい続編もどうぞ。	4
18	中島隆信	大相撲の経済学	2008	ちくま文庫	680	237	978-4480424280	相撲協会とは、これすなわち250年も続いている格闘技ビジネスのシステムなり。 実力主義なのに年功序列。神とも崇められているはずの貴重な横綱の 給料はたった282万円。年寄株に八百長と数々の特殊性に彩られたこの相 撲産業を経済学の視点で分析すると、さてどうなるか。	2
19	森博嗣	科学的とはどういう意味か	2011	幻冬舎新書	798	197	978-4344982208	自称理系な人ほど読んで考えて欲しい。理系って何さ。 理系作家、森博嗣の描く好奇心満載の教訓集。「考える」ことを放棄 している社会に対して警告を促し、科学的という形容詞の持つ本質的 な、でも忘れられがちな内容を丁寧に紹介していく。 これを読めば、理系男子がそっけないのがわかるかも?	9
20	福岡伸一	動的平衡	2009	木楽舎	1524	240	$\mathbf{U} / \mathbf{V} = \mathbf{U} \mathbf{V} \mathbf{V} \mathbf{V} \mathbf{V} \mathbf{U} \mathbf{U} \mathbf{U} \mathbf{U} \mathbf{V} \mathbf{U}$	『生物と無生物の間』が新事実満載の気合いの入ったパワフル講義とするならば、こちらは同じ事実を踏まえつつも、ぐっと気さくな炉端トーク。だから、『生物と無生物の間』のイントロダクションとしても、逆に余韻を楽しむかたちでも行けます。 生命は分子の淀み。なんてユニークで魅力的な世界観。クセになりそう。	4
21	村山斉	宇宙は何でできているのか	2010	幻冬舎新書	800	226	978-4344981881	宇宙のほとんどはからっぽ? トンデモナイ! ダークマターが23% ダークエネルギーが73% なんですね、ホントの話。 超ムズカシイ。でも、最先端をみんなと共有したい、という著者の志が熱い一冊です。	7

22	山根一眞	はやぶさの大冒険	2010	マガジンハウス	1365	288	978-4838721030	各ページの右端にご注目。パラパラパラ。こんな小さな仕掛けからも、著者の山根さんが、はやぶさに寄せる思いが伝わってきます。はやぶさの誕生から帰還まで、ゆっくりゆっくり見つめてきたライターさんならではの思いの結晶。 ――おかえりはやぶさ。君は最後の最後まで大したやつだった。	7
23	野口聡一	宇宙飛行士が撮った母なる地球	2010	中央公論新社	1900	120	978-4120041839	富士山がフジツボみたいっっ! 誰がうまいこと言えと いやもう、ワンカットごとに、なんなんだこれは、どうしてこんな色なんだ、と驚きが尽きません。マッシュルームみたいな月や、小石みたいなエアーズロックや。野口さんプロデュースの宇宙散歩、お楽しみください。	7
24	ナショナル・ジオグラフィック	地球のハローワーク	2009	日経BP社	1900	333	978-4863130722	表紙の写真に一目惚れ。 人生の豊かさとか、地球の広さとか、めんどーなコリクツなんて、ど うでもいい。パラパラめくって運良く「一目惚れ」に出会えたらこの本 はあなたのものです。	5
25	松本仁一	アフリカ・レポート	2008	岩波新書	700	199	978-4004311461	『カラシニコフ』の著者が伝える最新のアフリカ情報。 失敗だらけの国づくり、たくましき中国人商人の展開など興味尽きないが、経済学を勉強している社会工学生なら、下記の2点をぜひ考えてほしい。 ジンバブエの惨状について、著者はインフレ率16万%、ハンバーガー1個が3000万ェドルと紹介し、それもこれも権力が腐敗し、ムガベ大統領が私腹を肥やしたせいだ、と指弾する。 疑問1 物々交換が常態の国において、通貨を基準にした数値は、どれほど意味を持つのだろうか? 疑問2 権力者がスイス銀行に隠し口座を持ったくらいで、国の富がすっからかんになってしまうものなのだろうか?	3
26	石井光太	絶対貧困	2009	光文社	1500	272	978-4334975623	石井光太さん。私たちがおそらく一生関わらずに「済む」(←この2 文字をゴチックとして読んでください)であろう世界を、ここまで深 く、たしかに、かつ明確な主張とともに届けてくれる書き手さんを他に 知りません。 山室的立ち読みポイントは ・45-46ページ メイちゃんのお母さん ・145ページ 花売りビジネスモデル ・259-260ページ 売春宿の子供は高学歴	5
27	伊藤洋一	ITとカースト インド・成長の秘密と苦 悩	2007	日本経済新聞出版社	1700	228	978-4532352417	世界のITを支えつつ、頑としてカースト制度も健在。新旧混交の不思議の国に日本人視点の率直さで迫ります。 ほんとに、どうしてインド人はオリンピックでメダルを取れない(むしろ、取らない)んでしょうね。	4
28	遠藤 誉	ネット大国中国――言論をめぐる攻防	2011	岩波新書	798	219	978-4004313076	お隣中国のネット事情について。ネットに政治的に介入する中国側の施策の裏側と、ネットユーザーの感情とがやけに生々しくて面白い。中国版2009年の漢字は『被』だそうだ。「被自殺」「被代表」「被増長」、なんだよそれと思ったら、p93へGO。	9

29	堤 未果	ルポ 貧困大国アメリカ I • II	2008	岩波新書	700	409	9/8-400431120	サブプライムに不法移民、所得格差が拡大するいっぽうなのは国家がそう仕向けてるから。ワーキングプアはイラクで傭兵と化す。テロより怖い民営化。 ぱんぱんぱんと立て続けに見せられて、ここまでヒドいのか、と唖然。ちょっと片方の局面を強調しすぎだとは思うものの、そのぶん主張はわかりやすい。それがベストセラー街道驀進の理由か。 そして、これが日本でベストセラーになるのは、明日は我が身の危機意識か、それとも、やあいアメリカン・ドリームも崩壊してるんだと野次馬的いい気分になれるからか。 などなど、いろんな読みを引き受けられるパワフルな話題本。	3
30	山野 良一	子どもの最貧国・日本	2008	光文社新書	861	273	079-1221021702	「貧困」から連想する国と言えば? 所得格差の大きなアメリカ? 飢餓で苦しむアフリカの国々? 東南アジア? 東欧諸国? そう考えたあなたは、きっと日本には貧困で苦しんでいる人なんて一握りだと思っている人。 そんな人には、一度でいいから自分の今いる日本について知って、考えてみて欲しい。 データの見せ方・数字の使い方がとても上手。客観的にわかりやすく、見えにくいものを可視化するグラフはとても丁寧。社会問題に意識を向けるもよし、論文の書き方の参考にするもよし、一読で二度おいしい本でございます。	9
31	野町和嘉	サハラ、砂漠の回廊	2010	新潮社	3400	119	978-4104025039	タッシリ・ナジェール、サハラ砂漠の最深部。 忘れないでほしい。ここはかつて、水ゆたかに溢れ、カバやワニが悠然と泳ぎ、人びとが白黒まだらの牛を飼って暮らした恵みの地であったことを。祭りの日には仮面を付けてみんなで踊り、祈りの時には両手を掲げて白い巨人を遙拝した繁栄の地であったことを。 エジプトに文明が栄えるずっとずっと昔。紀元前七千年から八千年間もの永き時を描き継がれてきたという岩窟の砂絵。不思議な乳房の描き方に見入りつつ、古代びとの呼び声に耳を澄ます。	6
32	安達正勝	死刑執行人サンソン	2003	集英社	700	237		仕事として人を殺す。その不条理をプロフェッショナルとしての誇りを以て乗り越えていった、たくましき家系の男たちの肖像が、じつにいきいきと提供され、ギロチン華やかなフランス革命の奔騰のまっただなかに首根っ子ごと巻き込まれる。	1
33	高木 徹	戦争広告代理店	2002	講談社	619	405	978-4062750961	世論は善悪をハッキリ決めたがる。バルカンの小国ボスニアは、アメリカの広告代理店の力を借りて、敵ユーゴスラビアを悪役に仕立てることに成功する。ほんとうの悪者はいったい誰?	1
34	白尾元理	日本列島の20億年	2009	岩波書店	1900	100		写真がすばらしい。特に空撮。鳥の目でしっかりと山や川が、どんな ふうに地形をつくってきたかが見てとれる。ナンバー20の新雪富士にほ れぼれ。 解説が、もっと愛想良かったらなあ。できればイラスト入りがあらま ほしい。良い企画なのに、そこがホント惜しい。	4

35	磯田道史	武士の家計簿	2003	新潮新書	680	203	978-4106100055	埃まみれの古文書から微細にあぶり出される武士家族の収入と支出。 維新を乗り切ったつましい暮らし。映画化、来ました。	1
36	ジョー・オダネル	トランクの中の日本	1995	小学館	2500	98	978-4095630132	たぶん戦争体験って、こんなふうにしか手渡してゆけないのかもしれない。 ハエが真っ黒にたかったりんご(90ページ)とか、アルミニウムのお盆(30ページ)とか、そして彼の代表作と称えられる96ページの少年	3
37	井上理	任天堂 "驚き"を生む方程式	2009	日本経済新聞出版社	1700	288	978-4532314637	人生のたくさんの時間をお世話になってきた、いやたぶん今もお世話になりつつあるゲームの世界のお話。 京都の花札屋がいかにして世界制覇を成し遂げたか? なんてまとめると、ありがちサクセスストーリーっぽく聞こえるけれど、どうしてどうして、この会社はタダモノではない。「最先端じゃなくてイイ、枯れた技術でじゅうぶん」「僕らは役に立たないモノを作ってる」、経験に裏打ちされたスゴイ言葉がぽんぽん飛び出してくる。数時間のインタビューをお手軽にまとめたのとは底力の違う、取材の手あつさがあってこそだろう。気合いの入ったルポルタージュである。 そして何より、社長の岩田さんが我らが東工大の大先輩だってことに、アツくなれるはず!	5
38	石川拓治	奇跡のリンゴ	2008	幻冬舎	1300	192	978-4344015449	変わりもんの困りもん。津軽弁でカマドケシと呼ばわるそうな。 そのカマドケシさんが、変わりもんであるがゆえに成し遂げてしまった、とんでもミラクル無農薬リンゴ。 徹底的に現場主義、リンゴの木から一歩も離れずに語られる体験談がすがすがしい。なるほど、生態系を殺すことから農業って始まるんだね、と納得。 九年ぶりに白い花を咲かせたりんご園。木村さんと一緒にお花見をどうぞ。	4
39	渡辺奈々	チェンジメーカー 1・2	2005	日系BP社	1600	459	978-4822244644	女のひとが多いなあ。ひいふう18人のうち12人。 みんな笑顔がきれいだなあ。 世の中のためになる仕事。そんなのは、才能と運に恵まれたごく一部 のエリートさんにしかできないさと思っていたけれど、今日び、意外と そうでもないみたい。国境なき医師団のようなシニセでなくても、いろ んなNPOが生まれて、この社会の歪みを正そうと、しなやかに真剣に働い ている。もしかして、その仲間たちのなかに、あなたの居場所があるか もしれない。 「地の塩」という言葉を思い出しました。	4
40	西水美恵子	国をつくるという仕事	2009	英治出版	1800	297	978-4862760548	よく怒り、よく泣く。それがマダム・ミエコの推進力かも。 途上国を支援する世界銀行という仕事。電線に流れている電力まで二 大政党が分捕り合戦している(インド235-236ページ)など、生半可な正 義感では太刀打ちできない、絡まりもつれた現状に、それでも「何が正 しいか」だけを武器に敢然と立ち向かう勇姿がすがすがしい。 いやそんなごリッパなお話はどうもね、というかたには、274ページ、 伝統衣装外交のエピソードだけでも。	5

41	 馬崎弘樹	「社会を変える」を仕事にする	2007	英治出版	1400	245	978-4862760180	そんなにゴタイソウな理想や使命感があったわけじゃないんだ。 ベンチャーやってて、ふと行き詰まって、じゃあなんか、金儲けじゃ ないことやってみっか、みたいな。 ワーキングママたちのために、子供が急病の時に預かってくれるNPO 「フローレンス」を立ち上げた駒崎さんの、いきあたりばったり、でも 大まじめでアツい浮き沈み人生。 ポコンポコンとキーワードが大きなフォントになってて、そんな工夫 も駒崎さんの人生みたいにメリハリがあって◎。	5
42	小暮真久	「20円」で世界をつなぐ 仕事	2009	日本能率協会	1470	209	978-4820717416	テーブルフォーツー。社員食堂でヘルシーメニューを選ぶと、あなたが支払ったうちの20円がアフリカの子どもの給食になります。東工大生協でも始まりましたね。 先進国の肥満と途上国の飢餓を一挙に解決してしまえという欲張りアイデアをビジネスとして成り立たせてしまった小暮さん。そのサクセスの舞台裏トークですが、パートナーシップの築き方やブランディングの手法など、ふつうの仕事に置き換えてもしっかり適用することができます。 その点、フローレンスの駒崎さんよりクールで論理的かな。	6
43	安田 雪	「つながり」を突き止める	2010	光文社新書	760	254	9/8-4334035884	着想の自由さが魅力。エイズ予防を呼びかけるポスターを目にするや、恋人連鎖のシミュレーション研究をさくさく始めてしまう、といった具合に。 拠るべき古典理論も踏まえるべき先行研究も持ち合わせない、若くてやわらかい学問分野だからこそ、なのでしょう。アルカイーダでも新型インフルでも、大学生の試験情報入手でも(199ページ)、気になった切り口からのつまみ食いをどうぞ。 「社会シミュレーション」の授業でお世話になっている増田直紀先生も125ページに登場します。これもスモール・ワールド!?	7
44	門田隆将	なぜ君は絶望と闘えたの か 一本村洋の3300日	2010	新潮文庫	514	348	9/8-4101231420	電車のなかで読まないで。たぶん、涙が止まらなくなるから。 光市母子殺害事件。なぜに自分の家族が? 突然に叩き落とされた奈 落の底から、どんな光を頼りに青年は自らの力で未来を開いていったの か。それがいつしか日本の司法制度を変える大きなうねりとなってゆく まで。 一人称ではなく、情に流されない観察者の筆致で、しっかりとあとづ けられた、たったひとりの、けれど重い足跡です。静かな熱さに吸い寄 せられて、一晩で一気に読みました。	4
45	慎武宏	祖国と母国とフットボール	2010	武田ランダ ム ハウス ジャパン	1890	336	978-4270005651	対日本戦になると燃えるんです、と在日フットボーラーたち。 生まれ育った日本を敵として戦うことによって、自分たちが何者であるかが確 かになるのだと言う。 スポーツに国境なんかない、の逆。スポーツをすることによって国境が明瞭に 見えてくる。その現場を掘り下げた共感レポート。選手ごとに分けてあるので、 どの章からでも。	7
46	蝦蔵&海野凪子	日本人の知らない日本 語1-2	2009	メディアファクトリー	880	100	978-4840126731	国際交流最前線。 日々コレ疾風怒濤のナギコ先生とご一緒にどうぞ。ドラマ化まで行く ブームになったのもナットクのおもしろさと含蓄深さです。	5

47	チップ・ハース&ダン・ハース	アイデアのちから	2008	日経BP社	1600	342	978-4822246884	なんて、やる気の感じられないタイトル。よっぽど内容に自信があるのかしらん。 単純明快、意外性、具体的、信頼性、感情に訴える、物語性、ぜんぶで六つですよ、みなさん、覚えましたか? Simple Unexpected Concrete Credible Emotional Story——頭文字をつなげると、ほうら。いや、覚えるほどのこともないあたりまえの要素。でも、これでもかと挙げられる事例のおもしろさに、ついつい読みふけってしまいます。153ページ「茶色い目、青い目」の実践例が心にしみました。なんで数学の勉強しなくちゃならないの、と塾で生徒に訊かれても困らないようになりたければ260ページへGO!	5
48	安宅和人	イシューからはじめよ	2011	英治出版	1800	243	978-4862760852	研究や仕事を進めるツボが、手際よく開示されています。 要は、がむしゃらにがんばってもダメで、ポイントを押さえてからエネルギーを 投入しようね、という、まあごくごくあたりまえの、でもそうやすやすとは実践でき ないアドバイスがキモです。 論点の可視化のテクニックなどは、企業えらびやエントリーシート、グループ ディスカッションに即応用可能でしょう。 読み終えると「できる人」に一歩近づけた気がします、たぶん。カンチガイかも しれないけれど、そんなふうに自分に元気玉をプレゼントする日をつくることも たいせつ。	8
49	佐々木 紀彦	米国製エリートは本当にすごいのか?	2011	東洋経済新報社	1575	254	978-4492223130	アメリカの大学は優秀? 日本はダメ? それってホント? に答える本。 アメリカの大学から話は膨らみ、中国関係や歴史問題、国際政治に主義主張と、これから考えるべきであることが伝わってくる。雑誌記者として、興味の集合知ともいうべき本。 野球好き(特にソフトバンクファン!)なら、迷わずp174は読んでみて!	9
50	南壮一郎	絶対ブレない「軸」のつく り方	2010	ダイヤモンド社	1429	234	978-4478015087	講演聞いて憧れた! 2010後期受講生さんの熱いご希望にお応えして。	7
51	ガー・レイノルズ	プレゼンテーションZen/ デザイン	2009	ピアソン・エデュケーション	2415	242/ デザイン 260	978-4894713284	これは効く! ごちゃごちゃの文字と図、センスの悪いカラーリング、そんなありがち「スライ デュメント」にさようなら。レイノルズ先生のワザを盗んで、プレゼン達人になろう。	7
52		スティーブ・ジョブズ 驚異のプレゼン	2010	日経BP社	1890	372	978-4822248161	これは効く! ごちゃごちゃの論理構成、センスの悪いダジャレ、そんなありがちスピーチに さようなら。ジョブズ神のワザを盗んで、プレゼン達人になろう。	7
53	岸勇希	コミュニケーションデザイン	2008	電通	1800	186	978-4885531989	コミュニケーションをデザインするための本 あんなヒット例、こんなサクセス例。うきうきと並べてゆくことで、 この本自体が電通という企業のリッパなコマーシャルになってしまって いるのだから、したたかと言うか。 でも披露される、たくさんのテクニックは、ふむふむなるほどと興味 を引くものばかり。	4
54	ロベルト・インノチェンティ	百年の家	2010	講談社	1900	64	978-4062830423	みつけてください、あなたの小さな物語。 英語版と対比すると、より味わい深いです。	6

55	隈 研吾	自然な建築	2008	岩波新書	700	208	978-4004311607	アスファルト・ジャングル。このままじゃダメだ。絶対ダメだ。みんなそう思ってる。でも、ありきたりの近代文明批判じゃなくて、有言実行、モノをつくってみせるところがカッコいい。ごつい石に涼やかさを託し、もろい竹にたくましさを担わせ。う一むう一むと現場の苦心を共有するうちに、いつしかクマさんのプロジェクトの一員になって、一緒に無い知恵をしぼっている。現在進行形の熱気に②。	5
56	宮崎 駿	トトロの住む家	2011	岩波書店	2300	93	978-4000257978	家と、樹々と、人とが寄り添いあって、ゆっくり年を重ねてきた、そのたたずまいに、宮崎監督のおともをして、ほんのつかのま、おじゃまさせていただけます。 この明るい板張りの縁側では、どんな少女たちが桜のつぼみを数えたのだろう。 この節くれ立ったエゴの木は、どんな腕白坊主がよじのぼったのだろう。 写真とイラストからご自由に、いにしえの息づかいを蘇らせてください。あ、トトロめっけ!	8
57	東京R不動産	東京R不動産1・2	2010	アスペクト	2180	334	978-4757217621	自分が住まう空間や働くスペースは、できれば自分で設計したいなあ。 そんな夢の入り口へ。	6
58	相羽高徳	東京妙案	2010	日本経済新聞出版社	1890	198	978-4532491109	ラーメン博物館は夕焼けレトロイメージ。星の王子様パーキングエリアはプロヴァンス風。ヒット作品だけじゃなく、ペットミュージアムとかスミソニアン博物館テイストの本屋さんとか、あったらうれしいよねのアイデアがいっぱい。でさ、こんどはこんなコンセプトで設計したら、どうかな。カラフルなイラストと楽しそうな語り口のおかげで、シカクいアタマをマルくして(←これも相羽さんのお仕事)ー緒にブレインストーミングしているような臨場感。	8
59	山口晃	山口晃作品集	2004	東京大学出版会	2800	80	978-4130831003	ルーペしおりは飾りじゃない! こまかく緻密に組み立てられた「もうひとつのニッポン」。 古いような新しいような、現実のような絵空事のような。しばしの時 空散歩をどうぞ。	5
60	中村估介	Blue-中村祐介画集	2009	飛鳥新社	3800	176	978-4870319226	いつまでも、夢をみていたいあなたに—— 絵からロックが聞こえてきます。	5
61	Shaun Tan	The Arrival	2007	Arthur a Levine	\$19.99	128	978-0439895293	言葉をうしないます。 こんな表現方法があったのか、と。 言葉のいっさい存在しない、サイレント絵本。表情が光景が、不思議なアイテムたちが、心の深層へとダイレクトに語りかけてきます。 かなしくて、あたたかい。おとなのファンタジー。	8
62	ヤマザキマリ	テルマエ・ロマエ I II	2009	エンターブレイン	714	100	978-4047261273	古代ローマ。どーんと気合いの入った歴史浪漫かと思いきや、お風呂しか舞台にしないもんね、という人を喰った設定がすてき☆思い込みの激しすぎるルシウス君、かわいがってやってくださいませ。 コミックなので100ページ上限ルールで。	6

								1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
63	冲方 丁	天地明察	2009	角川書店	1890	475	978-4048740135	しっかり調べて、じっくり人物像を立ち上げた重量級歴史小説。 渋川春海さん、暦をつくった人。読みやすくてキャラの魅力にはまれます。 江戸時代人と算法勝負をしたいかたは、21ページと143ページと236 ページへ直行!	6
64	万城日 学	鹿男あをによし	2010	幻冬舎文庫	686	454	978-4344414662	セントくん跋扈する旬の奈良へGO! 「マイシカ」がド真ん中のツボでした。 ふうん、奈良の人ってスーパー行くのもマイシカなんだ、そうなんだ。	6
65	万城目 学	プリンセス・トヨトミ	2009	文春文庫	750	554	978-4167788025	どかんと大阪が炸裂する。 やるなあ! お話だもの、ここまではじけてくれなくっちゃ。ひょう たん、ってのがまた人を喰ってて痛快だね。 あまりのスピード感に、500ページを一気読みしてしまいました。	6
66	森見登美彦	有頂天家族	2007	幻冬舎文庫	720	423	978-4344415263	この世の中は天狗と狸と人間から成り立っています。 三択だよ、って言われたら、何になりたいですか。 ゼッタイ狸を選びたくなる。狸になって偽叡電に化けて寺町通りを爆 走して「それは阿呆の血のしからしむるところだ」って呵々大笑してみ たくなる。たとえ狸鍋にされても。きゃーッ。 章ごとに独立でも読めます。	3
67	伊坂幸太郎	ラッシュライフ	2005	新潮文庫	660	449	978-4101250229	ストーリーの主人公は「時間」。だからヒストリアンズの書棚に最適。 なあんてムリにコジツケなくても、おもしろいからいいよね。 どこかの検察さんじゃないけど、ストーリーに縛られることの危うさってやつを しっかり教えてくれます。	7
68	伊坂幸太郎	ゴールデンスランバー	2007	新潮文庫	900	690	978-4101250267	花丸付き「たいへんよくできました」な、ひたすら逃げる物語。人はひとりだけれど、ひとりじゃない。世界はとてつもなく不条理で、自分という小さな存在を容赦なく押し潰しにくるけれど、過ごしてきた日々に関わりを持った人たちが、どこかで自分を応援してくれていて、さりげなく助けてもくれる。 逃げて逃げて逃げて逃げて、よれよれへとへとになりながら、ふっと心が軽くなる、そんな体験をしました。 ——人間の最大の武器は習慣と信頼だ。	6
69	夏川草介	神様のカルテ 1 2	2010	小学館文庫	2050	522	978-4094086188	ものがたり、だけれど、真実。 今この瞬間、あの町でこうやって生きている人たちがいる。 信州の清冽な空気のなかに、あたたかな涙を流れます。 「良心に恥じぬというだけが、我々のたしかな報酬だ」――こんなふうに仕事 をしたい。	7
70	東野圭吾	麒麟の翼	2011	講談社	1600	325	978-4062168069	はじめ:いきなり日本橋! 派手な舞台装置でわくわく。 なかば:地道着実。推理の積み上げ、加賀さんかっこいい。 ラスト:いくつもの家族ドラマの重奏にしみじみ。 王道ですね。さすが定評ある作家さん。ミステリー好きのみなさまに。	8
71	池井戸 潤	下町ロケット	2010	小学館	1785	407	978-4093862929	ラストは爽快に大空へ。 大田区が舞台のものつくり物語。企業の競争や特許のこともちょっと分かる し、見知った地名がちらほらあるのも親しみやすいし、人生観も深くて、さわや かに読み終われる今年の直木賞受賞作。	9